

第 V 章

日本医学会の活動

2024 年度日本医学会の活動

門脇 孝*
Takashi Kadowaki
* 日本医学会会長

1. 日本医学会総会

1) 「第 32 回日本医学会総会 2027」の準備

第 32 回日本医学会総会（2027 年）はメインテーマを「医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～」とし、開催の準備を進めている。総会の開催形式としては、現地開催を主として WEB 併用についても組織委員会を中心に討議を重ねている。

2025 年 1 月 10 日現在、決定している概要を下記に記載する。

①学術委員会

- ・臨床系、基礎系、社会系、医工・産学連携系の 4 サブグループの学術委員より現在約 35 セッションの企画内容が提出されており、委員長を中心に確認をおこなっている。
- ・U40 委員を任命しており、2025 年より企画検討に入る。
- ・日本看護協会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会と連携し、各協会との共同企画を今回も検討する予定である。
- ・試みとして 143 の加盟学会宛てに、その 2 学会以上が共同で企画する分科会連携シンポジウムの公募を行う予定である。
- ・会頭枠企画として「医療政策」「国民皆保険」「国際医療貢献」「医学の歴史探訪」などをテーマとしたセッションを検討している。

②産業医委員会

- ・日本医師会より第 31 回総会あてに出された申し送り事項をもとに、第 32 回より委員会として新設した。
- ・日本医師会および大阪府医師会とのキックオフミーティングをすでに実施しており、サテライト会場の開設についてもご賛同をいただいている。使用会場などを再度大阪府医師会と協議して講師選定に入る予定である。

③総務委員会

- ・講演会場は大阪国際会議場をはじめ、20 数か所を確保している。
- ・各省庁をはじめ医療関係者およびメディアへ後援名義使用の申請を行っている。

④登録委員会

- ・参加登録の開始時期を会期半年前の「2026 年 10 月 1 日（木）」とする予定であり、あわせて産業医セッション申込みも開始できるように準備を進める。

⑤展示・イベント委員会

【学術展示】

- ・以下の大テーマと小テーマを定めた。

大テーマ：「人生 100 年時代をどう生きるか」

小テーマ（カテゴリー・キーワード）：

「感染症への挑戦」「ここまできた再生医療」「ガンの克服」「遠隔診療の最前線」

「診断技術の最前線」「災害と医療」

【市民展示】

- ・コンペを行い、運営事務局に株式会社電通を選定した。
- ・「いのち・健康・みらい博」と銘打つことが決定した。

⑥広報委員会

- ・書家の紫舟氏に「医学のレジリエンス」の書を依頼。現在ポスター案を作成中。

⑦式典委員会

- ・市民展示の開会式と閉会式はうめきたエリアにて、学術講演会の開会式と閉会式は大阪国際会議場にて開催することとしている。
- ・学術講演会開会式の前日に開催される会頭招宴はリーガロイヤルホテル大阪にて検討中である。

⑧財務委員会

- ・寄付金および協賛・出展の依頼を行うべく準備を進めている。

⑨記録委員会

- ・記念新書の制作を検討しており、岩波書店に打診中である。
- ・医学に触れてもらうべく、子供向けマンガや動画の制作を検討している。

⑩ダイバーシティ推進委員会

- ・セッション開催や展示を検討している。

⑪ソーシャルイベント委員会

- ・大阪府医師会と開催に向けて協議を進めている。

<事務局>

第 32 回日本医学会総会 事務局 E-mail : office@isoukai2027-osaka.jp

<学術講演会・学術展示 運営事務局>

株式会社コングレ 大阪本社内 E-mail : isoukai2027@congre.co.jp

<市民展示 運営事務局>

株式会社電通内 E-mail : shimintenji2027@dentsu.co.jp

2. 日本医学会幹事会

第 2 回日本医学会幹事会を、2025 年 2 月 21 日に web 開催した。主な議題は、「2024 年度日本医学会年次報告」「2025 年度日本医学会事業計画」「日本医学会加盟学会」等である。

3. 日本医学会臨時幹事会

2025 年 2 月 21 日に開催予定であった日本医学会臨時幹事会は時間的制約があったことから、協議

事項についてメールにて幹事より事前に了承を得た。主な議題は「『日本医学会役員数の変更について』を議題とする臨時評議員会の開催」「日本医学会連合の役員数変更に伴う日本医学会役員数の変更」についてである。

4. 日本医学会定例評議員会

第92回日本医学会定例評議員会を、2025年2月21日にweb開催した。主な議題は、「2024年度日本医学会年次報告」「2025年度日本医学会事業計画」「日本医学会加盟学会」等である。

5. 日本医学会臨時評議員会

日本医学会臨時評議員会を2025年2月21日にweb開催した。主な議題は「日本医学会役員数の変更」についてである。

6. 日本医学会シンポジウム

1) 日本医学会シンポジウム

本年度は2回開催した。

2) 日本医学会シンポジウム企画委員会

標記委員会は8名で構成されており、シンポジウムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。本年度は2回開催した。

3) 日本医学会シンポジウム記録

日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で「第164回日本医学会シンポジウム」「第165回日本医学会シンポジウム」の映像を配信した (<https://jams.med.or.jp/>)。

4) 日本医学会シンポジウムの講演要旨

講演要旨は、日本医師会雑誌に次のとおり掲載した。

「第164回日本医学会シンポジウム」：第153巻5号

「第165回日本医学会シンポジウム」：第153巻10号

7. 日本医学会公開フォーラム

1) 日本医学会公開フォーラム

本年度は2回開催した。

2) 日本医学会公開フォーラム企画委員会

標記委員会は7名で構成されており、公開フォーラムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。本年度は2回開催した。

3) 日本医学会公開フォーラム記録

日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で「第35回日本医学会公開フォーラム」「第36回日本医学会公開フォーラム」の映像を配信した (<https://jams.med.or.jp/>)。また、全国の大学院医学系研究科長／大学医学部長・医科大学長宛に映像配信についての周知依頼を発出した。

8. 日本医学会協議会

毎月1回、会長・副会長、日本医師会担当副会長・常任理事で定期的に開催している。

9. 日本医学会正副会長会議

2024年より新たに発足した会議で、日本医学会の会長、副会長で3ヶ月に一回程度開催している。本年度は第1回を5月10日、第1回臨時会議を6月25日、第2回を10月8日、第3回を2025年2月28日に開催した。

10. 日本医学会医学用語管理委員会

日本医学会委員会の中で最も歴史が古い委員会である。委員長：大江和彦、副委員長：南学正臣他11名の委員と協力会社2社により構成。本年度は1回開催した。

11. 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

遺伝学に関する用語は、医学、教育、社会において広い分野で関係することから、日本医学会としては十分な検討の上、プロセスを踏んでコンセンサスを形成することが重要と考え、医学用語管理委員会の下にワーキンググループを設けて検討を行っている。委員は座長：辻省次他7名で構成。本年度は1回開催した。

12. 不適切語を含む医学用語の検討ワーキンググループ

病名や疾患名、置換えが望ましいが検討の余地がある用語、「奇形」以外で不適切な用語、不適切な人名の付いた用語等を検討している。委員は座長：森内浩幸他14名で構成。本年度は開催されなかった。

13. 用語表記基本指針策定ワーキンググループ

医学用語における用語の表記方法の基本方針を策定することを目的としている。委員は座長：久具宏司他6名で構成。本年度は2回開催した。

14. 日本医学会分科会用語委員会

本年度は、2025年1月15日にweb開催した。

15. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は8月23日に開催された。

委員に加え、本年度は特例委員として8名が加わった。

結果は、医学賞4名、医学研究奨励賞15名が選考され、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文を日本医師会雑誌（第153巻第10号）に掲載した。

16. 日本医学会加盟検討委員会

13名の委員により構成。第1回を12月18日に開催した。本年度の加盟申請の20学会についての審査を慎重に行い、その結果を日本医学会協議会に提出した。

17. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。委員は委員長：福嶋義光他10名で構成。

本年度は4回開催し、「日本医学会『良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするための施策の総合的かつ計画的な推進に関する法律』に関する提言」（2024年3月）の発出後の経緯、日本産科婦人科学会からのPGT-Mに関する要望等について検討を行った。

18. 日本医学会利益相反委員会

委員は委員長：土岐祐一郎他8名で構成。本年度は1回開催した。

19. 日本医学会分科会利益相反会議

本年度は開催されなかった。

20. 日本医学雑誌編集者組織委員会

委員は委員長：北村聖他 9 名と、オブザーバー 3 名で構成。本年度は 1 回開催した。

21. 日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・シンポジウム

第 13 回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第 13 回シンポジウムを 2025 年 1 月 7 日に開催した。当日の映像および抄録等詳細は、日本医学会ホームページに掲載した。

22. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究不正問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、各分科会会員の教育啓発に活かすことを目的として、日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会、日本医学会連合利益相反委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会合同で開催している。なお、日本医学会連合利益相反委員会は 2024 年度から参加することとなった。

本年度は、「変貌を遂げる研究倫理の意味合いとその啓発」をメインテーマに 5 月 7 日に開催し、映像を日本医学会ホームページに掲載した。

23. 日本医学会総会あり方委員会

日本医学会総会のあり方について、中・長期的な展望で検討することを目的としている。委員は委員長：高橋雅英他 14 名で構成されている。

本年度は 1 回開催した他、第 32 回総会の企画の参考にすることを目的として日本医学会分科会および都道府県医師会を対象に「第 31 回日本医学会総会に関するアンケート調査」（調査期間：2024 年 3 月 13 日～4 月 30 日）を実施した。

24. 再生医療等レジストリ協議会

再生医療等製品の市販後調査・治験等における患者登録システムの効率的な運用を目的として発足した。日本医学会分科会、PMDA、日本再生医療学会と連携をとりながら進めている。

25. 移植関係学会合同委員会

厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。本年度は2回開催した。

26. 出生前検査認証制度等運営委員会

NIPTを実施する非認定施設の増加により、適切なカウンセリングが行われないまま妊婦がNIPTを受検するケースが増えたことが問題視され、厚生労働省より本会に標記委員会の設置を依頼された。2021年6月の臨時評議員会にて承認されている。本年度は3回開催した。

27. 日本医学会 e-News

5月にNo. 9を、10月にNo. 10を発行した。今後も不定期に発行する予定である。

28. 情報発信

日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ(<https://jams.med.or.jp/>)と分科会ホームページをリンクしている。

29. その他

- 1) 「日本医学会分科会一覧」を9月に作成、関係各方面に配付した。
- 2) 「2025年日本医学会分科会総会一覧」(オンライン版)を2025年1月に作成した。
- 3) 「日本医師会年次報告書－令和6年度－」および「日本医師会事業報告」に、日本医学会関係の記事を掲載する予定。